

平成29年7月10日

大阪府支援教育研究会会員 様
特別支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 高谷 信郎
(枚方市立長尾小学校長)

ICT 活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト合同夏期講座案内（3次案内）

大阪府支援教育研究会研究部 ICT 活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。
多数のご参加をお待ちしております。

記

1. テーマ 9月からできる支援教育における児童生徒理解と ICT 活用
2. 日 時 8月17日（木）、18日（金）（午前講座：9:30～12:30、午後講座：13:30～16:30）
3. 会 場 大阪府立光陽支援学校
〒535-0022 大阪市旭区新森6丁目8番21

方法 その1 大阪市営地下鉄 今里筋線 清水駅より徒歩8分
方法 その2 京阪本線 森小路駅より徒歩16分

※公共交通機関でのご来場をお願いします。
大阪府立光陽支援学校へ電話等での問い合わせや欠席連絡をしないでください。
当日、欠席の場合は、平峰（090-6055-3405）にご連絡下さい！
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な講座があります）
5. 定 員 各講座先着順で定員まで受け付け（申し込み状況をHPでお知らせします。）
6. 申し込み 下記申込先まで、以下の内容を明記の上、
e-mailにてお申し込みください。（必ず受付受理のメールを返信します！）
1) 氏名・所属 2) 連絡先（e-mail）
3) 参加希望講座記号 4) 懇親会参加の有無（17日（木）の講座終了後 開催）
(※会場予定 大阪府立光陽支援学校近辺のお店
前日に予約するため当日のキャンセルはできません。)
7. 申し込み先 平峰 厚正（泉南郡熊取町立南小学校）
問い合わせ e-mail：ict2017※daishienken.visithp.com
(※印を@に変えてください) ※問い合わせは、e-mailにてお願いします。
※講座資料をメール添付で送ることがあります。
※yahoo メールで受理メールを送りますので、「受理番号」をご確認下さい。
なお件名は「大支援研 ICT 活用夏期講座 問い合わせ」をお願いします。
※会場の大阪府立光陽支援学校に直接電話等で問い合わせしないようにお願いします。

8. 講座について

講座は、両日とも午前の部 (AM) 9:30~12:30、午後の部 (PM) 13:30~16:30 で設定しておりますが、講座によっては、開始時刻及び終了時刻が異なる場合があります。各講座の時間帯 (午前・午後) をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

9. 講座一覧・問い合わせ e-mail : ict2017※daishienken.visithp.com (※印を@に変えてください)

記号	講座 (講演、講義、PC 講座、体験会、教材教具製作) 一日目、17日の講座	17日(木)	
		AM	PM
A	講演「事例から考える合理的配慮策定のポイント (その1, その2)」 定員: 80名 講師: 後上 鐵夫 先生 (大阪体育大学 教授) 会場: 新館 機能訓練室	○	
B	講座「特別支援教育での ICT 活用情報の探し方」 定員: 30名 講師: 金森 克浩 先生 (日本福祉大学 教授) 会場: 新館 機能訓練室		○
C	講座「音声のみで使う iOS and 見えにくいを見える化する iOS」 定員: 20名 講師: 藤原 一秀 先生 (エルピス・ワン代表) 森岡 健一 先生、今嶋 善幸 先生、大前 洋介 先生 (神戸市立盲学校) 会場: 新館 多目的室		○
D	実践講座「iPad 実践講座 Keynote で教材作成」 定員: 15名 講師: 根本 貴明 先生 (大阪府立箕面支援学校) 要: iPad 持参 (Keynote がインストールされていること) 会場: 新館 調理室		○
E	講座「Windows の入力支援 ~ アクセシビリティと支援ソフト・機器の紹介 ~」 定員: 15名 講師: 伊丹 一弘 先生 (大阪府立箕面支援学校)、田代洋章 (日本支援技術協会) 会場: 新館 パソコン室		○
F	教材作り講座「プログラミングが小学校で必修に!? Scratch でプログラミング体験&クリック教材制作」 講師: 竹島 久志 先生 (仙台高等専門学校 総合工学科 教授) 定員: 10名 小林 拓也 先生 (仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻2年) 昌浦 堯希 先生 (仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻2年) 会場: 新館 家庭科室		○
G	17日午前製作講座①「初めてのマイコン教室 (1) ~早押しスイッチを作ろう~」 定員: 15名 講師: 浅田 寿展 先生、田中 敏弥 先生 (材料費: 予定 1200 円) ※オプション書き込み装置の貸し出しと実費提供あり 会場: 新館 美術室	○	
P	17日午後製作講座④「初めてのマイコン教室 (2) ~水やり装置を作ろう~」 定員: 15名 講師: 浅田 寿展 先生、田中 敏弥 先生 (材料費: 予定 1800 円) ※オプション書き込み装置の貸し出しと実費提供あり 会場: 新館 美術室		○

記号	講座（講演、講義、PC 講座、体験会、教材教具製作） 二日目、18 日の講座	18 日（金）	
	講座名	AM	PM
H	講演「通級指導の実践と保護者への啓発や巡回指導」 定員：70 名 講師：赤瀬 瞳 先生、磯口 多恵子 先生、土井 三和子 先生 会場：新館 機能訓練室		○
I	講座「マルチメディア DAISY の紹介と作成、事例報告（支援学校等）」 定員：70 名 講師：田中 直壽 先生（大阪府立和泉支援学校） 会場：新館 機能訓練室	○	
J	講座「コミュニケーションを見える化する筆記によるテクノロジー」 定員：25 名 講師：大石 博司 先生、大前 洋介 先生 会場：新館 多目的室	○	
K	実践講座「iPad 実践講座 ロイロノートで教材作成」 定員：15 名 講師：根本 貴明 先生（大阪府立箕面支援学校） 要：iPad 持参（ロイロノートがインストールされていること） 会場：新館 調理室	○	
L	教材作り講座「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作～オートスキャンもできるよ♪～」 講師：竹島 久志 先生（仙台高等専門学校 総合工学科 教授） 定員：15 名 小林 拓也 先生（仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻 2 年） 昌浦 堯希 先生（仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻 2 年） 会場：本館 家庭科室	○	
M	講座「読み書きに困難のある児童生徒への ICT 活用（体験あり）」 定員：10 名 講師：田代洋章（日本支援技術協会） 会場：本館 パソコン室	○	
N	18 日製作講座②「iPad タッチャーの製作と iOS スイッチコントローラーの実習」 定員：15 名 講師：金森 克浩 先生、禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生（材料費：2000 円） 会場：新館 美術室	○	
O	18 日製作講座③「打楽器叩き装置の製作（ソレノイド使用、安全回路付）」 定員：15 名 講師：金森 克浩 先生、禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生（材料費：4000 円） 会場：新館 美術室		○

※詳細がまだ未確定な講座もあります。決まり次第、大支援研 HP に UP します。HP もご確認ください。

10. 懇親会 8 月 17 日（木）の講座終了後、懇親会を予定しております。
（参加費は実費で、会場は当日、会場本部にてお知らせします。会場は大阪府立光陽支援学校近辺です。）
※当日の参加キャンセルは出来ませんのでご了解下さい。

11. 講座申し込み締切日 7 月 31 日（月）

12. 備考 ※ 定員に満たない講座は、当日参加も可能です。HP の参加者状況をご確認ください。
ただし、準備上の都合がありますので、できる限り、7 月末までに事前申し込み
をお願いします。
※ yahoo メールで受理メールを送ります。受理番号を必ずご確認ください。
※ D 講座、K 講座は「要：iPad 持参」です。

13. 協力団体 ICT 活用プロジェクト夏期講座の開催に当たり、「大阪支援教育コンピュータ研究会」
の全面的な支援と協力をいただいています。

14. 大支援研 ICT 活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト合同夏期講座 各講座の内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参する物等の記載がございますので、よくお読みください。

問い合わせ e-mail : ict2017※daishienken.visithp.com (※印を@に変えてください)

<17日(1日目)の講座内容>

講座A	17日(木) 午前9:30~12:30	会場:新館 機能訓練室	定員	80名
講座名	事例から考える合理的配慮策定のポイント(その1, その2)			
講師	後上 鐵夫 先生 (大阪体育大学教育学部 教授)			
内容&紹介				
<p>平成22年度より始まった大阪体育大学健康福祉学部「特別支援教育トワイライト研修会」の2017年度4月例会及び5月例会で後上先生からご講義いただいた「合理的配慮の策定」のお話を今回行っていただきます。</p> <p>「合理的配慮」を提供するに当たっての3つの観点①教育内容・方法、②支援体制、③施設・設備である</p> <p>【「合理的配慮」の観点①教育内容・方法】</p> <p><①-1 教育内容></p> <p>①-1 -1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <p>①-1 -2 学習内容の変更・調整</p> <p><①-2 教育方法></p> <p>①-2 -1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <p>①-2 -2 学習機会や体験の確保</p> <p>①-2 -3 心理面・健康面の配慮</p> <p>【「合理的配慮」の観点②支援体制】</p> <p>②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮</p> <p>②-3 災害時等の支援体制の整備</p> <p>【「合理的配慮」の観点③施設・設備】</p> <p>③-1 校内環境のバリアフリー化</p> <p>③-2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <p>③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮、</p> <p>の各項目と、「担任教師の基本姿勢」、「校内支援体制の構築」、「多様な学びの場」とは、等事例から考えた合理的配慮策定のポイントについて、詳しく教えていただけます。</p>				

講座B	17日(木) 午後13:30~16:30	会場:新館 機能訓練室	定員	30名
講座名	特別支援教育でのICT活用情報の探し方			
講師	金森 克浩 先生 (日本福祉大学 教授)			
内容&紹介				
<p>特別支援教育でのICT活用が広がってきました。しかし、一方で初めて特別支援教育に関わりました、という先生方も増えています。</p> <p>この分野で長年ご活躍の金森先生から、「情報をどうやって探したらいいのか？」を中心にお話をさせていただきます。</p>				

講座C	17日(木) 午後13:30~16:30	会場:新館 多目的室	定員	20名
講座名	音声のみで使う iOS and 見えにくいを見える化する iOS			
講師	藤原 一秀 先生 (エルピス・ワン代表) 森岡 健一 先生、今嶋 善幸 先生、大前 洋介 先生 (神戸市立盲学校)			
内容&紹介				
iPhone や iPad に備わっているアクセシビリティ 「VoiceOver」。この使いかたを弱視や全盲といった当事者の立場で使っている講師から演習形式で指南いたします。支援者としてこの機能をどのように支援に使うかを考えたいと思います。視覚への支援者ではなくとも、視覚情報とはいったい何なのかを新ためて考えるのにとってもよいチャンスです。 iPhone iPad をお持ちの方はご持参ください。講座主催からも演習用に数台ご用意しておきます。				

講座D	17日(木) 午後13:30~16:30	会場:新館 調理室	定員	15名
講座名	iPad 実践講座 Keynote で教材作成			
講師	根本 貴明 先生 (大阪府立箕面支援学校 教諭)			
内容&紹介				
Apple の標準 APP. keynote を使って教材作成をしてみませんか?これまでお伝えしてきた、スケジュール提示とは違った使い方も紹介します。皆さんと一緒にアイデアを共有したいと思います。				

講座E	17日(木) 午後13:30~16:30	会場:新館 パソコン室	定員	15名
講座名	Windows の入力支援 ～ アクセシビリティと支援ソフト・機器の紹介 ～			
講師	伊丹 一弘 先生 (大阪府立箕面支援学校)、田代洋章(日本支援技術協会)			
内容&紹介				
<p>様々な障がいを持つ人たちにとって昨今流行のタブレットが必ずしも使いやすいとは限りません。つるつるのタッチパネルよりもマウスやキーボード、その他の機器を使ったほうが入力しやすい人がたくさんいます。Windows にはアクセシビリティという支援機能が標準装備されています。また多くの支援者たちによる支援ソフト・支援機器の蓄積があります。</p> <p>本講座は講義と実技の二段構えでおこないWindows の入力支援について皆さんと一緒に考えます。またここ2、3年できわめて安価に導入できるようになった視線入力装置の紹介をします。</p> <p>(1) ある支援学校での入力支援の例:ダブルクリックをシングルクリックに変更したり、ポインタを見やすいものに変更したりすることで格段に入力がしやすくなった例、キーボードシールやトラックボール、フリーの支援ソフトなどを紹介します。</p> <p>(2) 「Windows のアクセシビリティ機能」の解説と実習:マイクロソフトの「アクセシビリティガイドブック」に沿って、Windows のアクセシビリティ機能の体験を行います。最新の Windows10 のアクセシビリティについても紹介します。</p> <p>(3) まとめとディスカッション:パソコンとタブレットの弱点と長所の比較、支援のころなどについて考えます。質問があれば、みんなで考えましょう。</p>				

講座F	17日(木) 午後13:30~16:30	会場:新館 家庭科室	定員	10名
講座名	プログラミングが小学校で必修に!? Scratchでプログラミング体験&クリック教材制作			
講師	竹島 久志 先生(仙台高等専門学校 総合工学科 教授) 小林 拓也 先生(仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻2年) 昌浦 堯希 先生(仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻2年)			
内容&紹介				
Scratchは、MITメディアラボが開発したプログラミング学習環境です。ブロック化された命令を並べることで、スプライト(キャラクタ)を動かすなどのプログラミングが小学生でもできます。多数のスプライトや背景が用意されているほか、お絵描き機能も有しているため、オリジナルソフトを作れます。				
本講座では、サンプルを変更しながらScratchを使ったプログラミングを学習します。最終的には簡単なゲーム(クリック教材)を制作します。自分の絵や写真を使えばオリジナルのゲーム(クリック教材)になります。				
◇備考				
[準備] Scratchサイトに登録する。				
https://scratch.mit.edu/				
上部右側の[Scratchに参加しよう]を選び、ユーザ名、パスワードを決めて指示に従い登録する。				

講座G	17日(木) 午前9:30~12:30	会場:新館 美術室	定員	15名
講座名	初めてのマイコン教室(1)~早押しスイッチを作ろう~			
講師	浅田 寿展 先生(元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭) 田中 敏弥 先生(大阪府立藤井寺支援学校)			
内容&紹介				
昨年度も開催した、マイコンを全く使ったことのない人向けの講座です。これからマイコンを触って、LEDをチカチカしたい、音を出したい、スイッチで何かをしたいと思っているが、マイコンの初歩的なしくみを学びたい人に合わせて講座を行います。				
昨年度は、BASICなどのプログラミング言語を使用しましたが、今年度は余裕を持って使える超初心者向け言語「アルドゥブロック」のみを使用します。				
<材料と持ち物>				
○基本セット(1200円)				
○書込装置(ケーブル付き)か貸与します。(2000円で譲渡も可)				
○プログラミングをするために、パソコンを使います。ノートパソコン(Windows)の持込可。				
講師 浅田 寿展先生のHPの紹介				
JA教育研究会 http://www.ne.jp/asahi/ja/asd/jaera/				

講座P	17日(木) 午後13:30~16:30	会場:新館 美術室	定員	15名
講座名	初めてのマイコン教室(2) ~水やり装置を作ろう~			
講師	浅田 寿展 先生(元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭) 田中 敏弥 先生(大阪府立藤井寺支援学校)			
内容&紹介				
<p>昨年度、または午前中の「初めてのマイコン教室(1) ~早押しスイッチを作ろう~」の受講済み者向けの発展的な講座です。未受講でも、リレーの使い方や簡単なプログラムを作ってマイコンに書き込んでみたいの方はご参加ください。</p> <p>この講座では超初心者向け言語「アルドゥブロック」を使います。ノートパソコン(Windows)を準備できないため、参加者は必ず持参してください。</p>				
<p><材料と持ち物></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本セット(持ち帰り。1300円) ○書込装置(ケーブル付き)か貸与します。(2000円で譲渡も可) ○ノートパソコン(Windows)は、参加者持参。 ○以下は希望者に原価でお譲りします。 電動灯油ポンプ(1500円)、BDアダプタ(400円)、シャワーキャップスイッチ(700円) 				

<18日(2日目)の講座内容>

講座H	18日(金) 午後13:30~16:30	会場:新館 機能訓練室	定員	70名
講座名	通級指導の実践と保護者への啓発や巡回指導			
講師	赤瀬 瞳 先生(富田林市立伏山台小学校 教諭) 磯口 多恵子 先生(富田林市立大伴小学校 教諭) 土井 三和子 先生(富田林市立川西小学校 教諭)			
内容&紹介				
<p>大支援研2015年度冬季研修会で発表された「通級指導教室の実践報告(富田林市の小学校通級指導教室の活動)」のパワーアップ版です。</p> <p>通級指導の実践は土井三和子先生、保護者への啓発は赤瀬 瞳先生、巡回指導の実践発表は磯口妙子先生がそれぞれ行います。子どもへのよりよい支援・指導をめざして、日々、協力し、新しい知識を追い求め活躍されている「のびゆくレディース」(赤瀬先生、磯口先生、土井先生)の発表を是非お聞きください。</p> <p>また、大支援研2015年度冬季研修会と同じ、オープン形式の発表会ですので、通級指導教室に関係するいろいろな質問、相談等がありましたら、講師の先生方にお聞きください。</p>				

講座I	18日(金) 午前9:30~12:30	会場:新館 機能訓練室	定員	70名
講座名	マルチメディアDAISYの紹介と作成、事例報告(支援学校等)			
講師	田中 直壽 先生(大阪府立和泉支援学校)			
内容&紹介				
<p>マルチメディアデイジー図書の紹介と大阪マルチメディアデイジー研究会が進めている小学校・中学校・支援学校でデイジー図書を使った授業実践の事例報告、それからプロデューサーやchantyinfyでのDAISY作成について紹介します。今年は、支援学校でのDAISY図書を使った実践について、詳しく紹介できます。</p>				

講座J	18日(金) 午前9:30~12:30	会場:新館 多目的室	定員	25名
講座名	コミュメモでみえるコムを			
講師	kingstone [大石博司] (「相談支援事業所KS」「じんぶな〜」代表) 大前洋介(神戸市立盲学校 教諭)			
内容&紹介				
<p>自閉症スペクトラムの方への指導を高いテクノロジーでなくメモ用紙で、とりくみましょう。大切なのは、子どもを理解し、どのように伝えて、心理的な安心感を与えるか。かつての特別支援教育での実践経験を踏まえ、今、社会のニーズに応えるべく会社組織で活動する講師がコミュニケーションを見える化する技術を指南します。</p> <p>視覚情報とはいったい何なのかを新ためて考えるのにとってもよいチャンスです。紙と筆記用具によるICTの世界へどうぞお越しください。</p>				

講座K	18日(金) 午前9:30~12:30	会場:新館 調理室	定員	15名
講座名	iPad 実践講座 ロイロノートで教材作成			
講師	根本 貴明 先生 (大阪府立箕面支援学校 教諭)			
内容&紹介				
<p>未来の文房具、ロイロノートをビデオ編集APP.として活用してみましょう！ 今回は個人を支援する実践例を紹介します。</p>				

講座L	18日(金) 午前9:30~12:30	会場:家庭科室	定員	15名
講座名	パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作 ～オートスキャンもできるよ♪～			
講師	竹島 久志 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 教授) 先生 (仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム工学専攻 学生) 先生 (仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム工学専攻 学生)			
内容&紹介				
<p>重度・重複障害児(知的障害を併せ有する重度肢体不自由児)の学習に必要なとなる、スイッチで操作できる教材ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。</p> <p>制作する教材ソフトは、(1)クリック教材(スイッチを押すと画像が変化・音がでる)、(2)選択教材(オートスキャンによりスイッチ1個で選択できる)の2種類です。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで、手軽に教材ソフトが制作できます。</p> <p>前半は、パワーポイントを使ったスイッチ教材ソフトの基本動作をサンプルソフトの制作を通して実習します。後半は、各自オリジナルのクリック教材及び選択教材ソフト制作に挑戦します。使いたい素材(写真、イラスト、音等)があればお持ち下さい。</p>				
備考				
<p>・操作スイッチをパソコンに接続するには、改造マウス(スイッチ用ジャックを取り付けたもの)または市販のスイッチインターフェースが必要になります。本講座では製作しません。</p>				

講座M	18日(金)午前9:30~12:30	会場:新館 パソコン室	定員	15名
講座名	読み書きに困難のある児童生徒への ICT 活用(体験あり)			
講師	田代洋章(日本支援技術協会)			
内容&紹介				
<p>読み上げ機能などを含むデジタルノートアプリ OneNote や Word の学習ツール、和太鼓の後継である Word の読み上げアドイン WordTalker、PowerPoint の文字学習スライドなどを紹介します。また、これまでの事例として特別支援学級や通級での学習効果を含む事例も紹介いたします。</p> <p>Windows 10 のタッチ対応PCをご用意しますので、実機に触れながら一緒に体験していきましょう。</p>				

講座N	18日(金)午前9:30~12:30	会場:新館 パソコン室	定員	15名
講座名	iPad タッチャーの製作と iOS スイッチコントローラーの実習			
講師	金森 克浩 先生 (日本福祉大学 教授)、 禿 嘉人 先生 (東京都立光明学園 教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立町田の丘学園 教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立八王子東特別支援学校 教諭)			
内容&紹介				
調整中です。しばらくお待ちください。				

講座O	18日(金)午後13:30~16:30	会場:新館 パソコン室	定員	15名
講座名	打楽器叩き装置の製作(ソレノイド使用、安全回路付)			
講師	金森 克浩 先生 (日本福祉大学 教授)、 禿 嘉人 先生 (東京都立光明学園 教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立町田の丘学園 教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立八王子東特別支援学校 教諭)			
内容&紹介				
調整中です。しばらくお待ちください。				